



中距離電車停車に向けた検討 ⑧

本市は、JR東日本と「川口駅上野東京ラインホーム及び自由通路等整備に関する基本協定」を本年4月24日に締結し、川口駅への上野東京ライン停車に向けた準備を進めています。今回は、上野東京ライン停車までのスケジュールと、停車を見据えた川口駅周辺のまちづくりの検討状況をお知らせします。

これまでの検討経緯に関する詳細は市ホームページをご確認ください。



上野東京ラインの停車に向けた今後のスケジュール

基本設計の実施に先立ち、今年度から測量・地質調査を実施します。調査に関するスケジュールや内容などは、決まり次第、広報かわぐちや市ホームページでお知らせします。



令和7年度 }	● 測量・地質調査 ※鉄道用地外での作業があります。 ● 基本設計、詳細設計(4～5年程度)
設計完了後	● 工事着手
工事着手後 10～12年程度	● 上野東京ラインホームの供用開始

停車を見据えた川口駅周辺のまちづくりの検討状況

令和6年度に立ち上げた「川口駅周辺在り方検討委員会」では、学識経験者や経済団体、交通事業者などと意見を交え、上野東京ライン停車を見据えた将来の川口駅周辺におけるまちづくりの検討を進めています。

検討委員会の
開催状況はこちら▶



◆第1回委員会(1月24日実施)

「川口駅周辺における課題や将来想定される変化」や「まちづくりを検討する際に考慮すべき事項」などを検討しました。

東洋大学INIADcHUB機構長の坂村健氏をお招きし、AI活用による将来の川口駅周辺の方向性についてご講演いただきました。また、都市再生機構の担当者から駅周辺まちづくりの事例をご紹介いただきました。



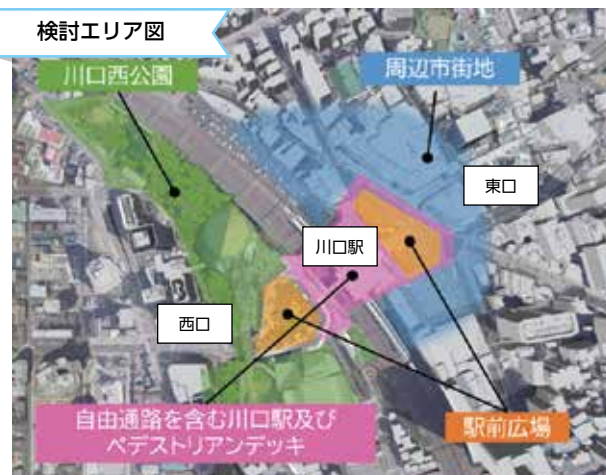
◆第2回委員会(5月28日実施)

「川口駅周辺において目指すべき将来像」や「本市がさらなる選ばれるまちとなるための戦略例」などを検討しました。

◆第3回・第4回委員会

川口駅周辺のエリアを「自由通路を含む川口駅及びペデストリアンデッキ」「駅前広場」「川口西公園」「周辺市街地」の4つに分類し、各エリアのコンセプト案や取り組み方針などを検討し、川口駅周辺の公共施設などの在り方を示した「川口駅周辺まちづくり指針(素案)」の今年度中の策定を予定しています。

検討エリア図



(第3回委員会資料から抜粋)